

平成29年度 事業計画書
平成29年度 収支予算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

公益財団法人
日本民謡協会

目 次

平成29年度事業計画書	1
平成29年度事業計画書(附表)	4
平成29年度正味財産増減予算書	6
平成29年度正味財産増減予算書内訳表	9

平成29年度事業計画書

はじめに

昨年度、会費を改定し会員の皆様にはご負担をお掛けしました。おかげさまをもちまして財政においては、ある一定の水準を保持しておりますが、少子高齢化が急速に進み、当協会の会員現勢に於いてもその傾向は顕著になっております。

昨年度、新入会条件および学生会員（青年会員）についてのアンケート調査には、多くのご回答・ご意見を賜りありがとうございました。それらご意見を、具現化すべく入会条件を見直し、また青年会員を新設し青年層の拡充と継続して民謡に携わる人材を育成して普及活動を押し進めてまいります。

あわせて少年少女・青年層への民謡の浸透をさせるべく、教授会においては各地区において講習会等開催により教授以上の教養・技量の向上、また親睦を図り、中長期的に充実に努めます。

今年度全国大会は国技館の改修工事により会場変更を余儀なくされ、当協会お膝元である品川区のきゅりあんで開催されます。この期に品川区との連携を図るなど工夫しながら皆様とともに大会を作り上げていきたいと思っております。また昨年度は津軽三味線コンクール全国大会をはじめ、会場を新たにしたことにより一定の成果を上げていることから、今後自主公演等、会場含め事業を見直して、時代に即し展開することにより、経費・収入面において良い成果が得られるよう鋭意取り組んでまいります。

今年度ブラジル支部創立50周年をむかえ、7月6日～19日国際文化交流ブラジル大会を開催します。ブラジル・ブラジル奥地支部での交流公演を始め、現地公館の要請によりブラジリア日本国大使館・ジャパンハウスでの公演、さらにフェスティバル・ド・ジャポンでの公演など全8公演が予定されております。この事業は、文化庁「国際芸術交流支援事業」へ申請しております。日本からの参加者を募り、現地会員の皆様との交流を図るとともに国際交流の一環として日本の民謡をアピールしてまいります。

また、引き続き「民舞指導教本（仮称）」発刊すべく押し進めてまいります。

各事業の概要は、次の通りですが、各部門の連携をより緊密にし、実施効果が高まるよう努力してまいります。

1. 普及啓発事業（公益目的事業 1）

① 自主公演・コンクール・表彰

- a. 日本民謡フェスティバル、民謡民舞全国大会・地区大会・連合大会・津軽三味線コンクール全国大会などを開催します。
また、新春民謡ショー、民舞・舞踊の祭典を自主公演するほか、靖国神社みたま祭に参加します。これらを通じて、広く民謡民舞の普及啓発活動を行います。
- b. 民謡民舞の普及、啓発、研究等に、特に功労のあった者から、厳選の上、民謡三章（民謡文化章・民謡技能章・民謡功労章）の表彰を行います。
- c. 寄付文化醸成を図るため、民謡民舞の普及、啓発事業に財政面での支援が顕著であり、各事業の充実、円滑な運営に多大な貢献された方（民謡紺綬章・紺綬貢献章）を表彰します。

② 広報誌の発行、ホームページの充実

広報誌「協会報」は年6回発行し、民謡民舞に関する当協会内外の活動状況、民謡民舞に関する情報、解説、研究発表などの記事を極力掲載し、適正な情報伝達方法として活用します。

また、ホームページの更新に努め、適時・適切に情報を提供するように努めます。

さらに、インターネット中継など各大会について広く周知を図ります。

③ 図書・文献・映像・音源の保存と公開

民謡・民舞に関する数千種の図書・文献・楽譜・録音盤・音源を保存しており、民謡民舞の関係者や一般に広く公開しています。平成23年度より、音源のレコード・テープのCD化に取り組み、利用者の利便に提供しています。

④ 助成・支援事業

各地域における民謡民舞の大会に対する助成・支援をおこないます。

広く、一般の民謡民舞の団体に対し、公益的見地から選考の上、助成・支援をおこないます。

2. 育成事業（公益目的事業 2）

① 少年少女大会の開催

少年少女地区大会、少年少女全国大会を主催・共催し、その育成と民謡民舞の伝承を図ります。

② 教授会、講習会の開催

教授の方々の学識・技量の向上を図り、民謡民舞の伝承・振興に尽力し、且つ学校や社会啓蒙活動等への支援、相互の情報交換等を図るため、教授会を開催します。

また、広く各層（少年少女・青年層・一般など）の講習会を開催し、各対象に応じた民謡民舞の講習を通じて、その浸透と伝承に努めます。

講習内容は、唄・尺八・三味線・太鼓・唄ばやし・民舞等です。

③ 学校教育用教材などの作成と販売

学校教育用の和楽器・唄などの教材、特に学校向けの民謡指導教本を作成・販売します。

なお、教材は、講習会でも活用します。

④ 小・中学校の生徒及び音楽教師への講習会の充実

現在、小・中学校の生徒及び音楽教師への民謡講習が本部また連合・会単位等で行われております。少年少女・青年層においては、民謡に触れる機会をつくり、また教える側への講習を行うことで未来への人材の育成を推し進めるべく、各連合委員会との連携とともに、より一層教育現場への活動を積極的に行います。

⑤ 民舞指導教本の作成・販売

和楽器・民謡と続いた指導マニュアルに続き、民舞の普及を目的とした指導教本の作成を引き続き推し進めます。

3. 調査研究事業（公益目的事業 3）

民謡民舞の発掘及び新作民謡の募集を実施します。

採択された作品は、民謡民舞全国大会で発表すると共に、当協会の図書館へ登録して保存し、利用者の閲覧に供します。

4. 施設の貸与事業（公益目的事業 4）

当協会が所有する舞台付き研修ホール・会議室などを貸し出します。

ホール・会議室・和室等は民謡民舞の研鑽・発表の場として、民謡民舞の愛好家・団体等に開放しております。

5. その他の事業（公益目的事業以外の事業）

① 指導者資格認定事業

全国に民謡民舞を普及するため、指導者を養成すべく、全国各地で指導者資格認定試験を実施し、指導者の育成を図ります。

② 民謡民舞関係衣装類の販売

民謡民舞用の着物・半纏・Tシャツを販売し、愛好者の利便に供します。

③ 民謡カレンダー・民謡手帳の販売

民謡カレンダー・民謡手帳を作成し、全国の主な民謡コンクール全国大会の日程を掲載して、民謡民舞の普及振興を支援します。

④ 民謡民舞に関する書籍を販売し、愛好者の利便に供します。

⑤ 当協会に、貢献・功労・永年在籍された会員を表彰します。

⑥ 新年賀詞交歓会の開催

民謡民舞の関係者等が一堂に会して、親睦を深めるほか、意見交換、情報の共有を図り、民謡民舞の振興に資するよう努めます。

⑦ 国際文化交流ブラジル大会

⑧ 会員、組織の整備

協会活動の基礎となる会員の増強に努め、組織の拡大を図ります。

6. 管理部門

① 協会財政の見直し

引き続き経費削減に務め、所属会員の減少による会費収入への影響等を鑑み、自主公演含め各事業の見直し、その他収入源の確保等に努めます。

② 協会会館の附属設備の一部改修

当協会が所有する舞台付き研修ホール・会議室などを貸し出すにあたり、経年劣化箇所の改修を行い、利用者の利便性を図ります。

以 上

平成29年度事業計画書(附表)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

事業又は催事名	実施月	摘要
公益目的事業		
公1普及及び啓発事業		
第30回日本民謡フェスティバル2017	平成29年6月18日	NHKホール(東京)
民謡民舞全国大会	平成29年10月5～8日	きゅりあん(東京) 4日間
大会特別委員会	随時	民謡会館
第20回津軽三味線コンクール全国大会	平成29年4月2日	浅草公会堂(東京)
新春民謡ショー	年度内	日時、会場未定
靖国神社みたま祭り	平成29年7月14日	靖国神社 能楽堂(東京)
民舞・舞踊の祭典2017	平成29年9月14日	浅草公会堂(東京)
民謡三章等表彰	平成29年10月5～8日	全国大会開催時、きゅりあん{東京}
地区委員長・連合委員長会議	平成30年3月	民謡会館
協会報発行	年度内隔月	年6回 奇数月発行
研究特別委員会	平成29年7月	民謡会館(発掘・新作民謡選考)
公2育成事業		
平成29年度民謡民舞少年少女東京大会	平成29年5月21日	民謡会館
平成28年度民謡民舞少年少女全国大会	平成29年8月19～20日	きゅりあん(東京) 2日間
少年少女・学校講習会	随時	民謡会館・学校出張講習会等
青年層対象演奏会	未定	高校生以上の青年層を対象に発表の場を提供
民謡民舞少年少女指導員制度の推進	随時	少年少女指導員制度の充実
青少年特別委員会	随時	民謡会館
民謡民舞講習会	随時	民謡会館、地方開催
民謡民舞指導者向け講習会	随時	民謡会館、地方開催
民舞指導教本	年度内発刊	民舞指導者の教材、講習会の教材
公3調査研究事業		
発掘・新作民謡の音源および歌詞の整備	随時	民謡会館
発掘・新作民謡入選曲発表	平成29年10月	全国大会開催時、きゅりあん{東京}
公4施設の貸与事業		
ホール、和室、会議室の貸与	随時	民謡会館

事業又は催事名	実施月	摘要
収益事業・その他の事業		
平成30年版協会カレンダー刊行	平成29年10月	
平成30年版協会手帳刊行	平成29年10月	
認定特別委員会	年度内	資格審査・合否判定等
認定試験講習会	年度内	学科・民謡・器楽の講習
認定試験（師範教授）	年度内	民謡会館
認定試験（7会場） 東京地区	平成29年9月	民謡会館
北海道地区・東北地区	年度内	
北関東地区・北陸地区	年度内	
西日本地区・九州地区	年度内	
師範教授認定証授与式	平成29年7月	民謡会館
指導者資格認定証授与式	平成29年11月	民謡会館
表彰（貢献章・敬寿章・協会章等）	平成29年10月5～8日	全国大会開催時、きゅりあん（東京）
組織特別委員会	随時	民謡会館
新年賀詞交歓会	平成30年1月	帝国ホテル（東京）
管 理 部 門		
理事会（年4回）	随時	民謡会館
評議員会（年1回）	平成29年6月	定時評議員会、民謡会館
参与会（年1回）	平成30年3月	民謡会館
特別委員会（民謡三章・貢献章等）	平成29年5月	民謡会館
追悼式	平成29年6月30日	民謡会館
平成28年度決算監査	平成29年5月	民謡会館
平成29年度民謡民舞全国大会決算監査	平成30年1月	民謡会館
平成29年度中間監査	平成30年1月	民謡会館
平成29年度期末棚卸	平成30年3月	民謡会館

平成29年度正味財産増減予算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①特定資産運用益	(2,210,000)	(2,210,000)	(0)	
特定資産受取利息	10,000	10,000	0	
特定資産運用益	2,200,000	2,200,000	0	
②受取入金	(1,000,000)	(1,200,000)	(△ 200,000)	
受取入金	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	
③受取会費	(75,700,000)	(77,280,000)	(△ 1,580,000)	
受取会費	74,500,000	76,060,000	△ 1,560,000	
賛助会員受取会費	1,200,000	1,220,000	△ 20,000	
④事業収益	(98,000,000)	(120,720,000)	(△ 22,720,000)	
主催・共催事業収益	44,300,000	61,750,000	△ 17,450,000	会場変更による
広報事業収益	700,000	700,000	0	
情報公開事業収益	300,000	130,000	170,000	
研修・セミナー事業収益	2,300,000	2,600,000	△ 300,000	
少年少女等育成事業	4,600,000	4,740,000	△ 140,000	
次代の文化を創造する 新進芸術家育成事業収益	4,000,000	3,000,000	1,000,000	
衣装・出版事業収益	12,800,000	12,800,000	0	
資格認定事業収益	20,000,000	26,500,000	△ 6,500,000	
共益事業収益	9,000,000	8,500,000	500,000	
⑤受取寄付金	(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0	
⑥雑収益	(130,000)	130,000	(0)	
受取利息	30,000	30,000	0	
雑収益	100,000	100,000	0	
⑦募金収益	(650,000)	(700,000)	(△ 50,000)	
募金収入	650,000	700,000	△ 50,000	
【 経常収益計 】	181,690,000	206,240,000	△ 24,550,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
(2) 経常費用				
① 事業費	(161,621,220)	(188,464,380)	(△ 26,843,160)	
役員報酬	4,610,000	5,984,000	△ 1,374,000	
給料手当	18,650,990	17,853,990	797,000	
役員退職慰労費用	228,440	244,300	△ 15,860	
職員退職給付費用	404,860	437,510	△ 32,650	
福利厚生費	1,632,500	1,763,100	△ 130,600	
旅費交通費	12,501,200	8,642,850	3,858,350	
会議費	1,508,000	1,380,000	128,000	
通信運搬費	5,258,400	5,874,400	△ 616,000	
消耗品費	1,639,600	1,861,000	△ 221,400	
印刷製本費	17,592,000	16,925,000	667,000	
会場費	18,825,000	36,200,000	△ 17,375,000	会場変更による
付帯設備費	13,810,000	23,000,000	△ 9,190,000	同上
諸謝金	21,450,000	24,462,000	△ 3,012,000	
広告宣伝費	1,730,000	1,330,000	400,000	
光熱水料費	1,932,000	2,012,500	△ 80,500	
支払手数料	760,500	760,500	0	
修繕費	644,000	644,000	0	
保守管理費	3,404,980	3,565,980	△ 161,000	
減価償却費	4,991,000	4,266,500	724,500	
租税公課	4,718,750	4,718,750	0	
支払分担金	5,980,000	6,380,000	△ 400,000	
表彰費	12,070,000	12,650,000	△ 580,000	
物品購入費	1,681,000	1,640,000	41,000	
給食費	2,920,000	2,990,000	△ 70,000	
雑費	2,028,000	2,178,000	△ 150,000	
募金支出	650,000	700,000	△ 50,000	
② 管理費	(24,658,780)	(27,035,620)	(△ 2,376,840)	
役員報酬	5,182,000	6,602,000	△ 1,420,000	
給料手当	6,871,010	7,218,010	△ 347,000	
役員等退職慰労費用	381,560	385,700	△ 4,140	
職員退職給付費用	215,140	232,490	△ 17,350	
福利厚生費	867,500	936,900	△ 69,400	
旅費交通費	489,800	507,150	△ 17,350	
会議費	3,150,000	3,050,000	100,000	
通信運搬費	204,600	204,600	0	
消耗品費	260,400	279,000	△ 18,600	
印刷製本費	350,000	350,000	0	
諸謝金	200,000	200,000	0	
光熱水料費	468,000	487,500	△ 19,500	
支払報酬	1,050,000	1,650,000	△ 600,000	
支払手数料	139,500	139,500	0	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
修 繕 費	156,000	156,000	0	
保 守 管 理 費	995,020	1,034,020	△ 39,000	
減 価 償 却 費	1,209,000	1,033,500	175,500	
租 税 公 課	1,081,250	1,081,250	0	
慶 弔 費	900,000	1,000,000	△ 100,000	
雑 費	488,000	488,000	0	
【 経 常 費 用 計 】	186,280,000	215,500,000	△ 29,220,000	
【 当 期 経 常 増 減 額 】	△ 4,590,000	△ 9,260,000	4,670,000	
2. 経常外増減の部				
【 当 期 経 常 外 増 減 額 】	0	0	0	
【 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 】	△ 4,590,000	△ 9,260,000	4,670,000	
【 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 】	656,733,183	665,993,183	△ 9,260,000	
【 一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 】	652,143,183	656,733,183	△ 4,590,000	
II 指定正味財産増減の部				
【 当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額 】	0	0	0	
【 指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 】	0	0	0	
【 指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 】	0	0	0	
III 正味財産期末残高	652,143,183	656,733,183	△ 4,590,000	

